

# 「リハビリテーション科学ジャーナル」創刊によせて

聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部長

小川 恵子

聖隷クリストファー大学にリハビリテーション学部が開設されたのは2年前である。大学では年度の終わりに「紀要」を出すのが定例であるが、1年目はまだ教員も揃っておらず、業績もさほどないことから、2年目が終わるこの時期に焦点をあてて、創刊号の準備をしてきた。「紀要」というと若い教員の論文執筆の登竜門のような印象があり、世間の評価があまり高くない。そこで、我々は題名を「リハビリテーション科学ジャーナル」とすることにして、レベルの高い論文で業績として評価されるものを目指して取り組んでみた。

学部開設2年目とは言え、日々授業の準備に追われる教員にとって、研究を行い論文にまとめることは容易ではない。そんな中で書き上げた論文であろうと思うが、教授から助手まで良く取り組んでくれたと思う。

このジャーナルは学部内に留まらず実習指導者にも投稿いただこうと考えている。全学で1冊にすることも今後検討されるであろう。

内容は論文が中心であるが、教員が行っている様々な活動も皆に知ってもらおうと正式の教員調書に載らない類のものも掲載することにした。

皆様のご批判のもと、このジャーナルがますます発展するものと確信している。